

## 情報セキュリティマネジメントシステム「ISO27001」の認証取得

ソニー生命保険株式会社（社長：川島 章由）は、平成18年6月22日に「ISO27001」の認証を取得しました。

今回の認証取得は、保険事務関連部門（中野坂上本社）が対象です。

当社は、今後とも情報セキュリティの維持・向上を図り、お客さまの個人情報をはじめとする情報セキュリティへの取り組みをより一層強化してまいります。

### 1. 認証取得への背景

当社は、平成15年6月27日に国内生命保険会社として初めて、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）規格「BS7799 - Part 2 : 2002」及びISMS適合性評価制度規格「ISMS認証基準（Ver. 2.0）」の認証を取得しておりましたが、このたび「BS7799 - Part 2 : 2002」が平成17年10月15日に発行された国際規格「ISO27001」へ移行されたことに伴い、認証取得をするに至りました。これにより当社は国際的に高度な情報セキュリティマネジメントに対応していることとなります。

### 2. 情報セキュリティの維持・向上について

生命保険会社は、お客様の様々な情報を、長期間にわたり適切に管理をする必要があります。

そこで、当社の保険事務関連部門では、お客様の個人情報をはじめ、全ての情報資産に対して、情報の漏洩や滅失、毀損等のリスクを査定し、それを低減させるための施策を体系的に策定・実行しています。また、施策が予定どおりに実行され、想定した効果が上がっていることを定期的に確認し、必要に応じて改善策を遂行する仕組みを構築しています。

#### <主な取り組み>

- ・ 情報セキュリティポリシーを制定し、全社員（派遣社員を含む）にその重要性を理解させ、浸透を図るための教育を実施。
- ・ 情報資産に対して、漏洩や滅失、毀損等のリスクを査定し、リスクを低減させるための施策を実施。
- ・ 施策が予定どおりに実行され、また想定した効果が上がっているかどうかの有効性を評価。
- ・ 情報システムに対して、外部の専門家によるシステム監査を行い、情報システムの改善を継続的に実施。

## <情報セキュリティシステムマネジメントシステム（ISMS）について>

情報セキュリティマネジメントシステム(Information Security Management System) は、組織のマネジメントとして、自らのリスク評価により必要なセキュリティレベルを決め、プランを持ち、資源配分して、システムを運用することを指しています。組織が保護すべき情報資産について「機密性」「完全性」「可用性」をバランス良く維持し改善することが情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の要求する主要なコンセプトとなっています。

機密性： アクセスを認可された者だけが、情報にアクセスできることを確実にすること。

完全性： 情報および処理方法が正確であること及び完全であることを確実にすること。

可用性： 認可された利用者が、必要なときに、情報及び関連する資産にアクセスできることを確実にすること。

## <情報セキュリティマネジメント（ISMS）のポイント>

下記のようなサイクルを継続的に繰り返すことにより、情報セキュリティレベルの向上を図ります。

Plan : 情報セキュリティ対策の具体的計画、方針を策定する。

Do : 計画に基づいて対策の実施・運用を行う。

Check : 実施した結果の監査を行う。

Act : 経営陣による見直しを行い、改善する。



以上